

記入年月日
令和 3 年 4 月 15 日

事務事業名		高齢者クラブ助成事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	010601000004
政策体系上の位置付け						単独/補助	補助	所属課	040501
政策体系	総合計画の施策名		0106		高齢者福祉の推進				高齢福祉課
	政策名		01	子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり					課長名
	施策名		06	高齢者福祉の推進					グループ
	手段名		01	①高齢者の生きがいつくりの推進					担当者名
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	単年度繰返し	(年度～)
	01	03	01	02	02	00	老人福祉総務事業	↳	期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入
法令根拠	桜川市高齢者クラブ事業費補助金交付要項								

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要（事務事業の全体像） 市内にある各地区高齢者クラブと市全体で組織される高齢者クラブ連合会に加入する方々が健康で生きがいのある生活を送るために、その活動を支援するための補助金交付を行う事業である。 各地区高齢者クラブでは会員の親睦を図る交流会やスポーツ、地域の清掃活動などを行い、高齢者クラブ連合会では、輪投げやバタンクなどの各種スポーツ大会の開催や市の教養講座への参加をしている。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 【担当者が行う業務の内容】 補助金申請書類の送付、補助金申請書の受付、申請書内容の確認、補助金の交付決定、補助金の支払い、実績報告書の確認・県への報告 ①各地区高齢者クラブ団体に対し、基本額（30,000円）＋人数割（1人450円）の補助金の支払い ②市高齢者クラブ連合会に対しての補助金の支払い ③県老人クラブ連合会に対しての負担金の支払い

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
補助金申請書類の送付、補助金申請書の受付、申請書内容の確認、補助金の交付決定、補助金の支払い、実績報告書の確認	各地区高齢者クラブ数	団体	61.00	59.00	58.00	59.00	60.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
桜川市内単位高齢者クラブ	各地区高齢者クラブ数(県費補助対象団体)	団体	46.00	43.00	43.00	44.00	45.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
桜川市各地区の高齢者クラブ活動の活性化を図るために支援する	各地区高齢者クラブの会員数	人	3,046.00	2,884.00	2,880.00	2,910.00	2,940.00
		%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移				01年度	02年度	03年度			期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		0
			県支出金	千円	949	895	919		0
			地方債	千円	0	0	0		0
			使用料・手数料	千円	0	0	0		0
			その他	千円	0	0	0		0
			一般財源	千円	4,026	3,818	4,150		0
			事業費計（A）	千円	4,975	4,713	5,069		0
			正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人		

02年度事業費 実績 (千円)				03年度事業費 予算 (千円)			
18 負担金補助及び交付金	4,713			18 負担金補助及び交付金	5,069		
		合 計	4,713			合 計	5,069

事務事業名	高齢者クラブ助成事業	事務事業No.	10601000004	所属課	高齢福祉課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 県補助事業として、地域の高齢者の生きがいと健康づくりに寄与する目的で助成を行っている。高齢化に伴い、対象者人口は増加しているにも関わらず加入者は減少している。また、補助金の単価を平成22年より、「人数割補助単価@500→@450」へと減額している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 地域高齢者クラブからは、クラブ加入者が高齢（80歳以上が大半）のため、事務手続きは変わらないのに補助金の配布金額が少ないことや事務手続きが面倒など、行政とのやり取りが困難になってきているという声がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 （この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） ☒ 結びついている 各地区の高齢者クラブの活動を支援することは、高齢者福祉の向上に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 （なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） ☒ 妥当である 高齢者の生きがいづくりのために各地区高齢者クラブの自主活動を支援することは、高齢者福祉の活動向上を図ることになるために妥当である。
	③ 成果の向上余地 （成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） ☐ 向上余地がない 高齢者の生きがいづくりとしての目的は果たしている。
	④ 廃止・休止の成果への影響 （事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） ☒ 影響有 地域での高齢者の活動の場がなくなり、地域社会での交流が失われる。
有効性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 （類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） ☒ 具体的な手段、事務事業名 ☐ 余地がない 地区単位で構成されている団体であるため、他に手法がない。
	⑥ 事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） ☐ 削減余地がない 活動支援のための事業費であるが、H22年度に県補助金減額に伴う補助金算定単価の見直しをしているが、高齢者数の増加に伴い、団体の担う役割は増えているため、事業費削減は厳しい。
効率性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 （事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） ☒ 公正・公平である 各行政区単位の高齢者クラブを対象としているため、公平・公正である。
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇒	超高齢社会に向けた地域の支え合い活動の強化が重要である中、高齢者クラブの活動は支え合いにつながる活動も含むため、活動を支援する必要がある。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																						
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う ☒ 現状維持 ☐ 廃止 ☐ 休止		（複数回答可） ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☐ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
			(6) 事務事業優先度評価結果																					
		成果優先度評価結果 ④																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 ☒ A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 ☐